

平成27年度

甲賀市予算

“滋賀の力”になります
「あいこうか國づくり予算」



平成27年度の当初予算が市議会定例会で可決されました。
平成27年度予算は、理想郷・甲賀の國づくりを着実に進めることで、市民と共に県内自治体をリードし、滋賀の魅力を底上げしていくことを理念に掲げ、『“滋賀の力”になります「あいこうか國づくり予算」』として編成しました。

平成27年度 甲賀市予算編成方針

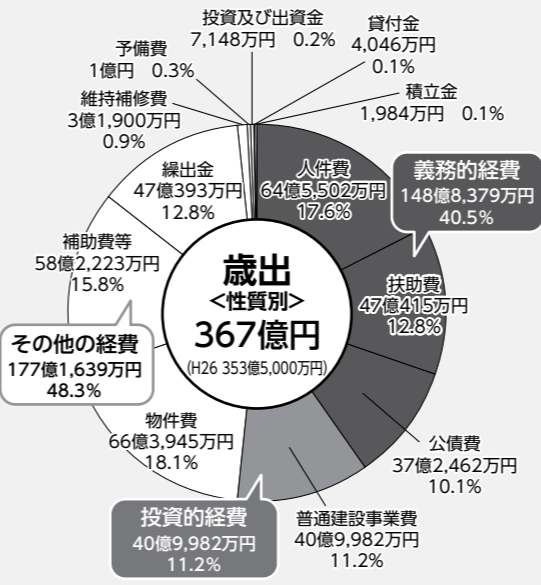
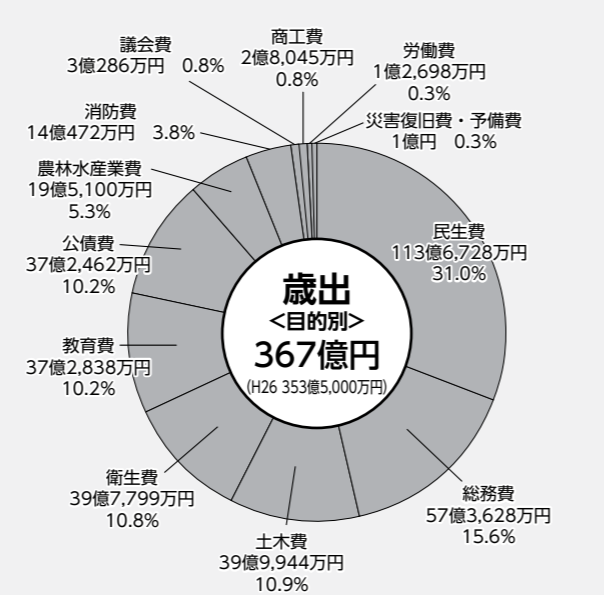
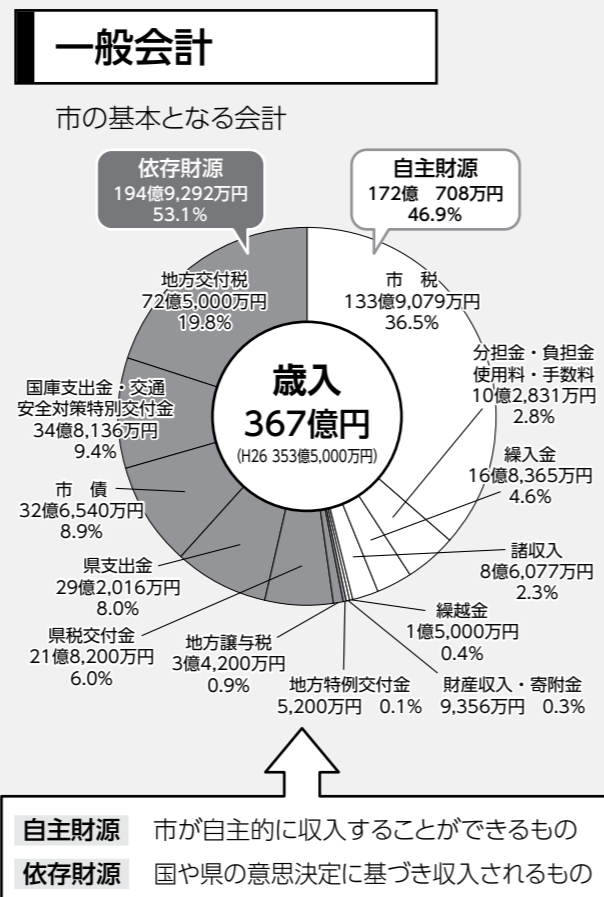
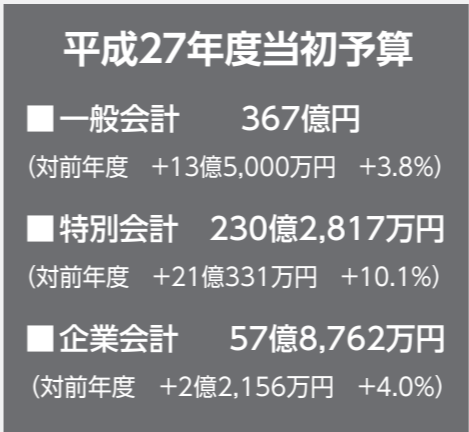
- 予算は、5つの基本方針をもって編成しました。
- ① 総合計画の実現をめざした重点的・戦略的な財源配分**
市民ニーズや経済情勢等を踏まえながら、安全・安心な暮らしをめざしてより一層の施策の重点化を図りながら、総合計画の実現のための部局間連携による予算とします。
 - ② 人口減少に立ち向かい、元氣なまち甲賀をめざす施策の展開**
持続可能な自治体経営において、最大の課題となる急激な人口減少問題に対し、将来を見据え、継続的かつ効果的な施策を部局横断的に取り組めます。
 - ③ 防災・減災対策等の強化**
市民の安全を最優先とし、将来を見据えた防災・減災対策、環境・エネルギー対策のより一層の強化を図ります。
 - ④ 合併特例期間を見据えた計画的予算**
「合併特例債」の発行と、「普通交付税の合併算定替※1」が適用される合併特例期間の終了後も持続可能な財政運営にむけて、その期限を見据えた計画的な予算とします。
 - ⑤ 財政健全化にむけた着実な取り組み**
前例にとられない思いきった行財政改革の断行や、市税や各種料金の滞納解消の実行と現有資産の有



甲賀市長 中嶋 武嗣

施政方針(要旨)

本市はこれまでの10年間に固めた基礎の上に、希望をもてるような未来を拓く社会づくりをしっかりと捉



義務的経費 市の歳出のうち、その支出が任意で削減できない経費
投資的経費 道路・公園・学校の建物など社会資本の整備に要する経費

自主財源 市が自主的に収入することができるもの
依存財源 国や県の意思決定に基づき収入されるもの

特別会計・公営企業会計

特定の事業を行うための会計

	予算額		
	27年度	26年度	前年度比較
特別会計			
国民健康保険	101億3,600万円	90億3,000万円	+11億600万円
後期高齢者医療	17億4,000万円	17億1,500万円	+2,500万円
介護保険	65億800万円	58億2,400万円	+6億8,400万円
公共下水道事業	37億4,800万円	35億9,800万円	+1億5,000万円
農業集落排水事業	6億7,200万円	7億3,400万円	△6,200万円
土地取得事業	2億356万円	326万円	+2億30万円
野洲川基幹水利施設管理事業	2,061万円	2,061万円	0万円
小計	230億2,817万円	209億2,487万円	+21億330万円
企業会計			
病院事業			
収益的支出	8億7,700万円	8億7,700万円	0万円
資本的支出	1億4,780万円	7,402万円	+7,378万円
水道事業			
収益的支出	30億174万円	29億8,063万円	+2,111万円
資本的支出	12億1,585万円	10億7,948万円	+1億3,637万円
診療所事業			
収益的支出	2億2,700万円	2億2,030万円	+670万円
資本的支出	520万円	575万円	△55万円
介護老人保健施設事業			
収益的支出	3億1,160万円	3億2,480万円	△1,320万円
資本的支出	143万円	408万円	△265万円
小計	57億8,762万円	55億6,606万円	+2億2,156万円
合計	288億1,579万円	264億9,093万円	+23億2,486万円

え、甲賀モデルを形づくっていくかなければなりません。生活の場からの声の一つひとつに耳を傾け、市民幸福の最大化に向けて「甲賀の國づくり」を着実に進めていくことが市民皆さんの負託に応える道であると深く思い定め、平成27年度予算を編成したものです。

本年は、地方創生が日本全国津々浦々で合言葉になりますが、私たちの取り組みは、理想郷・甲賀の國づくりです。そのうえで、市民皆さんと共に県内自治体をリードし、滋賀

の魅力を底上げしていくことを理念に掲げ、『滋賀の力』になります「あいこうか國づくり予算」と位置付けるものです。

総合計画の実現をめざし施策の重点化を図り、4つの重点テーマに沿った26の事業を核に取り組みます。特に「地方創生・甲賀の國づくりプロジェクト」では、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進するための事業を模索・検討し、本市独自の取り組みを積極的に展開していきたいと考えています。